

受付番号

2022-5

許可番号

大歯医倫 第 111215-0 号

研究課題名

フリックネイティブ世代の到来を見越した次世代歯学教育支援ツールの創製

研究責任者

松島 恭彦

申請者

松島 恭彦

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

口腔解剖学講座

所属

口腔解剖学講座

職名

助教

職名

助教

申請の概要

日々の学習においてパソコンのみならずスマートフォンやタブレットを使いこなし、IT に親しんでいる学生が増加している。スマートフォンやタブレットの操作はフリック入力(タッチスクリーン上で指を素早く動かしたり弾いたりして行う操作全般)といわれる。我々は IT に親しんでいる学生をフリックネイティブ世代の学生と名付けた。

本研究は、フリックネイティブ世代の学生に対し、専門用語の記憶に重要な「Output 機会の増加」に着目し、学生の視覚、聴覚、触覚の 3 覚を刺激し、少しでも多く記憶出来るように支援する学習支援型タイピングソフト（現在、開発中）を活用し、学生の口腔解剖学分野の学力向上を目的とする。また本ソフトの活用により DX が叫ばれる昨今にもかかわらず、タイピング能力が乏しい学生が多い。本プログラムを通してタイピング能力の向上も図る。

本研究によって学習支援型タイピングソフトを活用し、学生の口腔解剖学分野の学力向上並びにタイピング技術の向上をはかることができれば、我々歯科医学教育者はフリックネイティブ世代の学生に適した教育方法の選択肢を得ることが可能となるとともに、学生の IT リテラシーの向上が期待される。